

立志の道



2019. 12. 10 NO.19

発行責任者 校長 小池雅美

甲陵中・高への通学者が近道として利用する立志の道。
校訓「立志躬行」の実現への道のりを、中学校の教育活動の様子を通して、随時お伝えしていきます。

文化発表会に向けて準備中！当日をお楽しみに

すでに、お知らせしているところですが、12月14日（土）に、令和元年度「甲陵中学校文化発表会」をミューズホールにて開催いたします。ただいま各学年、準備まっただ中というところです。文化発表会は、高校と合同で行う紫蝶祭に対して、中学校独自で行われる文化祭という位置づけです。各学年の演劇発表、様々な大会で優秀な成績を収めた弁論や英語暗唱、全校合唱など盛りだくさんな内容です。保護者の皆さま、寒い時期ではありますが、ぜひ来校していただき、生徒達の頑張っている様子にエールを送っていただけたら幸いです。以下に当日のおおよその予定をお知らせします。時間は前後します。



行く紫蝶祭に対して、中学校独自で行われる文化祭という位置づけです。各学年の演劇発表、様々な大会で優秀な成績を収めた弁論や英語暗唱、全校合唱など盛りだくさんな内容です。保護者の皆さま、寒い時期ではありますが、ぜひ来校していただき、生徒達の頑張っている様子にエールを送っていただけたら幸いです。以下に当日のおおよその予定をお知らせします。時間は前後します。

以下に当日のおおよその予定をお知らせします。時間は前後します。

| | |
|--------|----------------------------------|
| 9:10～ | 防犯弁論（津金和貴）英語暗唱（落合華子） |
| 9:05～ | 1年演劇『thirsty～渴き～』 |
| 10:15～ | 自由研究発表（和田響吾）英語暗唱（坂口帆南）少年の主張（小林鈴） |
| 10:30～ | 2年演劇『夢屋』 |
| 12:30～ | グリーンバンク杯発表（中川心温）3年演劇『明日また教室で』 |
| 13:35～ | 少年の主張（小松日菜）交通安全弁論（小松若来） |
| 13:55～ | 全校合唱『生きる』 |



★保護者の皆さまにお知らせ

- * 駐車場は、長坂中学校南駐車場をご利用下さい。
- * ミューズホール入り口で受付をします。なるべく上履きをお持ち下さい。座席は生徒席の後方です。
- * 昼食場所として、立志の間を開放します。
- * 12月16日（月）は、14日（土）の振替休日となりますので、ご了承下さい。

少年の主張全国大会。青少年教育振興機構理事長賞！



2年生の小松日菜さんが少年の主張山梨県大会で最優秀賞となり、さらに関東・甲信越静岡ブロックの代表となり、全国大会への出場を果たしたことを「立志の道17号」でお伝えしました。そして12月8日（日）、東京の「国立オリンピック記念青少年総合センター」において、ついに全国大会が開催されました。皇室から佳子内親王殿下、悠仁親王殿下も参観される中、全国から選び抜かれた12名の中学生が渾身の発表を行う、全国大会にふさわしい素晴らしい大会でした。

そんな中、本校の小松さんの発表「繋ぐ糸が切れないように」は、内容の素晴らしい素晴らしさはもちろん、聴衆を引きつける語りの表現力に目を見張るものがありました。小松さんは全国3位に当たる「国立青少年教育振興機構理事長賞」を受賞しました。本当に素晴らしい結果になり、小松さんの努力を大いに讃えたいと思います。小松さんの発表は、甲陵中文化発表会でも披露します。ぜひ多くの方に聞いていただきたいと思

います。また、全国大会では、甲陵中・高校の箏曲部がアトラクションとして演奏を披露しました。急な出演依頼でしたが、短期間で曲を仕上げ、素晴らしい演奏をしてくれました。中学生の部員3名もインタビューに答えるなど、本当に良い機会になりました。



税の作文表彰

例年、多くの生徒が応募している甲府税務署管内納税貯蓄組合連合会主催の「税の作文」ですが、3年の小林みなみさんが「優秀賞」を受賞しました。この度関係者が来校し、校長室にて表彰をしていただきました。

ざぶん賞表彰

水に関わる文章を広く募集している「ざぶん賞」ですが、1年の宮崎奏音さんの作品が「ざぶん文化賞」に入選し、この度、ざぶん賞実行委員会事務局がある石川県金沢市での授賞式に招待されました。全国の入選作品は、プロのイラストレーターがアート作品に仕上げてくれるということで、素敵な額を進呈されたそうです。



3年生の弁護士出前授業で、「判決」を考えてみると……

12月3日、3年生は社会科の授業の一環として、甲府の「つきあかり法律事務所」の中川弁護士に來校していただき、「模擬裁判」の授業を行いました。架空の事件（DVD 窃盗）の刑事裁判を役割（裁判官、検察官、弁護人、証人、被告）を分担して演じたあと、グループごとに各証言について話し合い、有罪か無罪か、またその理由も含めて考える、という内容でした。



人によって証言に対する視点が違い、班によって異なる判決になるなど興味深い結果になりました。弁護士さんは、帰り際に校長室で「社会に出ると、あらかじめ答えが無いことの方が多い。多くの人が違う視点でものを考え、それぞれの意見を尊重しながら答えは導きだされるもの」という趣旨のことをおっしゃっていました。それぞれ学ぶことが多い時間だったと思います。

